

九州芸文館

KYUSHU GEIBUN-KAN

美術 × 音楽 福岡県立美術館 コレクション展

2016.

5.21 (土) >>> 7.3 (日)

10:00~17:00 (入場は16:30まで) 月曜休館

九州芸文館

◆主催：九州芸文館美術展実行委員会
◆お問合せ：九州芸文館（筑後広域公園芸術文化交流施設）
〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 TEL:0942-52-6435
[九州新幹線・JR鹿児島本線「筑後船小屋駅」徒歩1分]

入場料：一般 210円 (160円)

* ()内は20名以上の団体料金

* 高校生以下、65歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方およびその介助者、教職員引率による高校生以下および引率者は無料

ART × MUSIC: FUKUOKA PREFECTURAL MUSEUM OF ART COLLECTIONS

美術 × 音楽

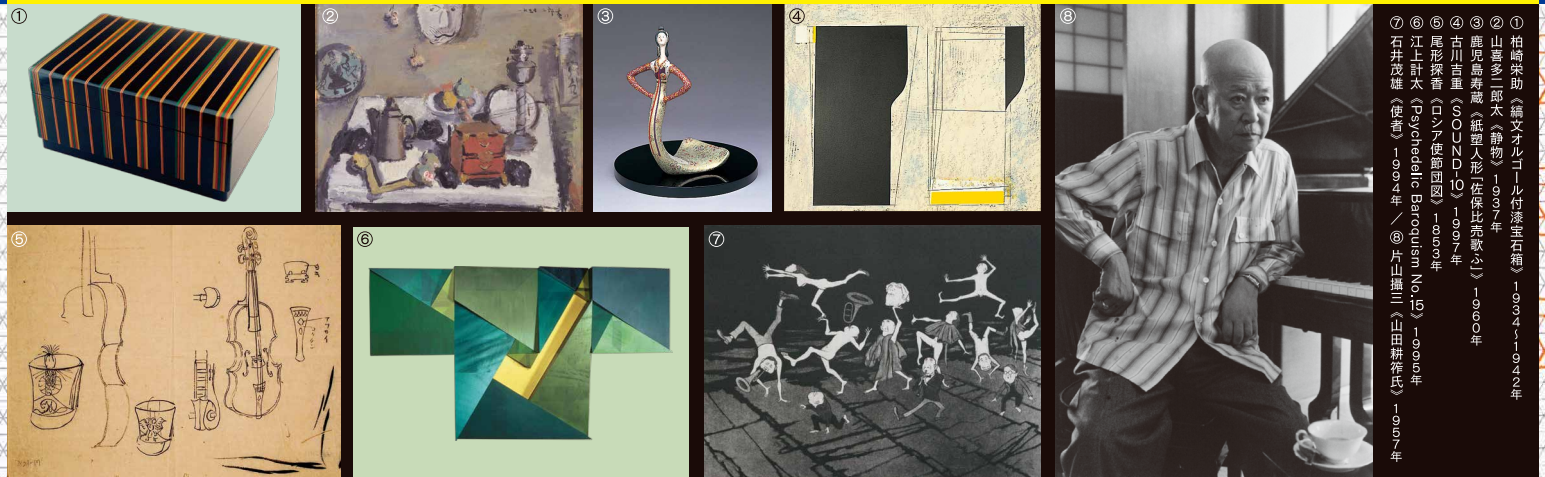
福岡県立美術館
コレクション展

芸術の歴史を振り返ってみると、美術と音楽とはしばしば密接な関係を私たちに示してくれます。ときに音楽は美術家たちのインスピレーションの源となり、その逆もまた然りです。

本展は美術と音楽との接点を探るべく山喜多二郎太《静物》や片山攝三《山田耕筰氏》などの楽器や音楽家をモチーフとした作品、古川吉重《SOUND-10》などの音楽を想起させる抽象作品など、福岡県立美術館のコレクションから絵画や彫刻、工芸作品約30点をご紹介します。

また、音楽を原点に制作を続ける美術家・江上計太の過去の版画・映像作品および新作インスタレーション作品を展示し、美術と音楽の関係性について改めて捉えなおす試みを行います。

ART × MUSIC: FUKUOKA PREFECTURAL MUSEUM OF ART COLLECTIONS



① 柏崎栄助《編文オルゴール付漆宝石箱》1934/1962年
② 山喜多二郎太《静物》1937年
③ 鹿兒島壽藏《紙製人形佐保比売歌心》1960年
④ 古川吉重《SOUND-10》1997年
⑤ 尾形探香《ロシア使節団》1999年
⑥ 江上計太《Psychellic Baroqueism No.1》2009年
⑦ 石井茂雄《像(書)》1997年 / ⑧ 片山攝三《山田耕筰氏》1999年

関連イベント

ART × MUSIC OPENING CONCERT

アクロスミュージアムコンサート「芸文館に輝くハーモニー ブラスクインテット × 美術」

美術からインスピレーションを受けた楽曲を中心に演奏します。

【曲 目】ブッチャーニ：歌劇『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」/ムソルグスキー：組曲『展覧会の絵』よりほか
【出 演】トランペット：安部志穂里 / 内田三紀子 / ホルン：森口洋輔 / トロンボーン：村岡淳志 / チューバ：宮原佑樹
【日 時】5月21日(土) 14:00~15:00
【場 所】大交流室 *定員200名〔先着順・参加無料・申込不要〕
【主 催】(公財)アクロス福岡

ART × MUSIC LECTURE レクチャー「美術と音楽の交わる領域について」

美術と音楽が交わった歴史から現代の作品まで、分かりやすく紹介します。

【講 師】栗原 詩子(西南学院大学国際文化学部 准教授)
【日 時】6月11日(土) 14:00~15:30
【場 所】教室工房3-4 *定員80名〔先着順・参加無料(※ただし本展観覧券が必要です)・申込不要〕

ART × MUSIC WORKSHOP きゅーはくきゅらばん! 「音と絵からアジアを感じよう」

インドネシアの竹楽器「アングレン」などの珍しい楽器の体験やベトナムの「ドンホー」版画の塗り絵体験など、アジアの音楽や美術に関連したワークショップを楽しむことができます。

【日 時】6月19日(日) 10:00~16:00
【場 所】アネックス1〔参加無料・申込不要〕
【主 催】九州国立博物館

ART × MUSIC TALK 学芸員によるギャラリートーク

学芸員が展覧会や作品の見どころをお話します。

【日 時】6月4日(土)・6月25日(土) 14:00~14:30
【場 所】展覧会場〔参加無料(※ただし本展観覧券が必要です)・申込不要〕

他にもミニコンサートなどを計画中!
最新情報は館内入口・ホームページにて

新作 インスタレーション作品

九州芸文館 × 江上計太(美術家)



1980年代以降の福岡のアーティストシーンを代表する美術家の一人、江上計太が音楽を基軸に、展覧会場に合わせて制作するインスタレーションの新作に取組みます。自身の音楽体験と理論から明快かつリズムカルに構成された線・色・形は、楽譜のようでもあり美術と音楽の交錯を提示してくれます。また、エリック・サティのピアノ曲名からタイトルを引用した版画作品《vexations》(1984年)、そして同時期に制作された実験映像など過去の作品も展示します。1951年福岡県大牟田市生。1977年東京藝術大学芸術学科卒業。1991年「第5回バングラデシュ・ビエンナーレ」最高賞受賞など、受賞多数。

*参考写真：《PSEUDO SCULPTURE》2016年



九州芸文館

KYUSHU GEIBUN-KAN

交通案内

- 【JR】九州新幹線「筑後船小屋駅」(博多駅から約25分)より徒歩約1分
鹿兒島本線「筑後船小屋駅」(博多駅から快速で約50分)より徒歩約1分
- 【西鉄バス】50番(久留米-高良台-羽犬塚-船小屋)「筑後船小屋駅前」より徒歩約1分
- 【車】九州自動車道「八女IC」より約10分、「みやま柳川IC」より約15分
- 【駐車場】103台(2時間まで無料/以降1時間100円)

お問合せ：九州芸文館(筑後広域公園芸術文化交流施設)
〒833-0015 福岡県筑後市大字津島1131 TEL:0942-52-6435
[九州新幹線・JR鹿兒島本線「筑後船小屋駅」徒歩1分]
URL: <http://www.kyushu-geibun.jp>